

作成日：2001年3月 8日

改訂日：2014年4月23日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	スマートフロアブル
製品コード	BHBD
会社名	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都中央区東日本橋一丁目1番5号
担当部門	管理部環境安全・品質保証グループ
電話番号	(03)5825-5518
FAX 番号	(03)5825-5504
緊急連絡電話番号	(03)5825-5518
奨励用途及び使用上の制限	農薬 (除草剤)
整理番号	1 5 1 2 - 0 3

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理的及び化学的危険性)

引火性液体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
自然発火性液体	区分外
水反応可燃性化学品	区分外

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分外
急性毒性：経皮	区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外
皮膚感作性	区分外

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 (急性)	区分 1
水生環境有害性 (長期間)	区分 1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き 安全対策
応急措置

環境への放出を避けること。
漏出物を回収すること。

廃棄 内容物、容器を法、条例に従って安全に廃棄すること。又は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名	①3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-2-フェニルチオビスクロ [3.2.1]オクタ-2-エン-4-オン ②4-(2-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-N-エチル-4,5-ジヒドロ -5-オキソ-1H-テトラゾール-1-カルボキサミド ③2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチルピラゾール-5- イルオキシ]-4'-メチルアセトフェノン
一般名	①ベンゾビスクロ ②フェントラザミド ③ベンゾフェナップ
成分及び含有率	①ベンゾビスクロ 3.7 % ②フェントラザミド 3.7 % ③ベンゾフェナップ 14.7 % ④水、界面活性剤等 77.9 %
化学式	①C ₂₂ H ₁₉ ClO ₄ S ₂ (分子量 446.97) ②C ₁₆ H ₂₀ ClN ₅ O ₂ (分子量 349.8) ③C ₂₂ H ₂₀ Cl ₂ N ₂ O ₃ (分子量 431.3)
CAS 番号	①156963-66-5 ②158237-07-1 ③82692-44-2
官報公示整理番号	①7-(2)-168 (安衛法) ②8-(3)-985 (安衛法) ③8-(2)-1322 (安衛法)

4. 救急措置

吸入した場合	被災者を直ちに新鮮な空気の場合に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分の水又はぬるま湯で十分に洗い流す。
眼に入った場合	直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療処置を受ける。
飲み込んだ場合	被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療処置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤	水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器
特有の消火方法	初期の消火には粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
消火を行う者の保護	燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保

火災時活動上の注意	<p>護具を着用する。</p> <p>消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。</p>
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置	<p>作業の際には保護具（ばく露防止措置欄参照）を着用し、飛沫が皮膚に付着しないようにする。</p>
環境に対する注意事項	<p>流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。</p>
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<p>少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。</p>
7. 取扱い及び管理上の注意	
安全取扱い上の注意	<p>取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないように取扱う。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。</p>
火災・爆発の防止	<p>通常の保管方法で問題無し。</p>
保管上の注意	<p>直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。</p>
8. ばく露防止措置	
設備対策	<p>取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための施設を設ける。</p>
管理濃度	<p>設定されていない。</p>
許容濃度	<p>日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。</p>
保護具	<p>呼吸器用保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼の保護具</p> <p>皮膚及び身体の保護具</p>
呼吸器用保護具	<p>保護マスク</p>
手の保護具	<p>ゴム手袋</p>
眼の保護具	<p>側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型保護眼鏡</p>
皮膚及び身体の保護具	<p>作業着、帽子、保護服（不浸透性）</p>
9. 物理的及び化学的性質	
外観	<p>類白色水和性粘稠懸濁液体</p>
臭い	<p>データなし</p>
pH（原液）	<p>6.4（参考値）</p>
融点・凝固点	<p>データなし</p>
沸点・初留点及び沸騰範囲	<p>データなし</p>
引火点	<p>データなし</p>
発火点	<p>データなし</p>
燃焼性	<p>データなし</p>
燃焼又は爆発範囲	<p>データなし</p>

蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸発速度	データなし
密度・比重	1.09 (参考値)
溶解性	データなし
オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	135 mPa・s (参考値)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の保管環境下で安定 (固形成分の分離は生ずる)
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD50	>2,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分外)
	経皮 LD50	>2,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分外)
	吸入 (ガス) LC50	分類対象外
	吸入 (蒸気) LD50	データなし (分類できない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		皮膚刺激性なし (ウサギ) (区分外)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		眼刺激性なし (ウサギ) (区分外)
呼吸感作性		データなし (分類できない)
皮膚感作性		感作性なし (モルモット) (区分外)
生殖細胞変異原性		含有物質が分類できない (分類できない)
発がん性		含有物質が分類できない (分類できない)
生殖毒性		含有物質が分類できない (分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		含有物質が分類できない (分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		含有物質が分類できない (分類できない)
吸引性呼吸器有害性		データなし (分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性			
魚毒性:	コイ	96時間 LC50	119 mg/L
その他:	オオミジンコ	48時間 EC50	32.4 mg/L
	藻類	72時間 ErC50	0.14 mg/L
残留性/分解性		データなし	
生体蓄積性		データなし	
土壤中の移動性		データなし	
その他		水産動植物に影響を及ぼすので養魚池周辺での使用は避ける。 蚕に対して毒性があるので、桑に付着するおそれのある地域 では使用しない。 ミツバチを放飼している地域では使用を避ける。 除草剤であり、植物に影響がある。	

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号(UN No.)	3082
品名(国連輸送名)	環境有害物質、液体、他に品名が表示されていないもの
国連分類	クラス 9
容器等級	III
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録 第20629号
消防法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化学物質排出管理促進法 (PRTR 法)	第一種指定物質 (ファントラザミド) 第二種指定物質 (ベンゾフェナップ)
毒物劇物取締法	非該当

16. その他

- 引用文献
- 1) JIS Z 7252 : 2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法
 - 2) GHS対応ガイドライン 製品安全データシートの作成指針(改訂2版)
2012年6月 一般社団法人 日本化学工業協会
 - 3) 農薬中毒の症状と治療法 第13版 平成22年4月 農薬工業会
 - 4) クミアイ化学工業株式会社 製品安全データシート スマートフロアブル
2014年4月14日改訂版

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の実施を前提としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じてください。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには充分ご注意願います。